



# おおや



8・9月号 R6.8.26

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者  
校長 田崎 守

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

## 夢に向かって

お盆が過ぎても、引き続き暑い日が続いている中ですが、本日から2学期が始まり、子供たちの声が学校に戻ってきました。学校は、子供たちが活動している風景が似合います。2学期は、登校する日が一番多く、様々な行事が予定されている学期となりますので、充実した教育活動を展開できるよう、教職員で一致団結して取り組んで参ります。

さて、私はこの夏休み7年ぶりに生まれ育った九州に帰省する機会がありました。ここ近年は、コロナ禍で遠方への外出を自粛することが多かったため、久しぶりの帰省となり、両親や親戚と会うことができました。また、帰省のもう一つの目的としては、全国高等学校総合体育大会北部九州総体でハンドボールの試合を観戦することでした。今回のような全国大会は、各都道府県での予選会を勝ち抜いた高等学校チームが代表として出場し、トーナメント方式で対戦することができる夢の舞台であるとも言えます。3年生にとっては、高校生活の最後の大会として、負けた場合には、基本的に部活動を引退することになります。そのような中、チームごとに目標があり、全国優勝、ベスト4、1回戦突破を目指すチームなど様々で、それぞれが勝利を目指して大会に参加していました。試合前の練習での緊張感した表情、試合中に歯を食いしばりながら倒れても立ち上がる姿、仲間のために声を張り上げて応援する姿、勝負が決まった後の喜怒哀楽の表情など、感動した瞬間が何度もありました。

様々なチームの試合を観ている、選手それぞれに得た財産は、仲間、自信、感動などそれぞれにあったに違いないと感じました。3年間、夢に向かって努力を続け、仲間と過ごした時間は、人生を豊かに生きていくための大きな財産になるものだと思います。

試合の観戦を通じ、大谷小の子供たちにも、夢をもってほしいと改めて感じました。大きな夢、どんな夢でも、なりたい自分をはっきりイメージすることが大切です。なりたい自分をイメージしたら、そのなりたい自分に本気で努力することで夢の実現に繋がっていくと思います。夢が、努力の原動力となって、子供たちの成長、輝いた姿に繋がるのだと思います。

勿論、夢を実現させることは簡単なことではありません。大きな夢ほど多くの努力も必要になってきます。実現に至らないこともあるかもしれません。しかし、本気で努力した人は、決して無駄ではなかったことを実感するのだと思います。そして、全国大会に出場していた選手たちのように何かを得られるのではないのでしょうか。

大谷小学校では、子供たちが夢に向かって努力する、夢を実現する素地となる力をつけるなど、保護者、地域の方たちと力を合わせ、教育活動を進めていきたいと思っています。2学期もよろしく願いいたします。

